



がんばる! 長尾!

なにかよく がんばる おおきくなる 子

学力特集号

令和元年10月17日
北九州市立長尾小学校
校長 大人形 孝浩

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

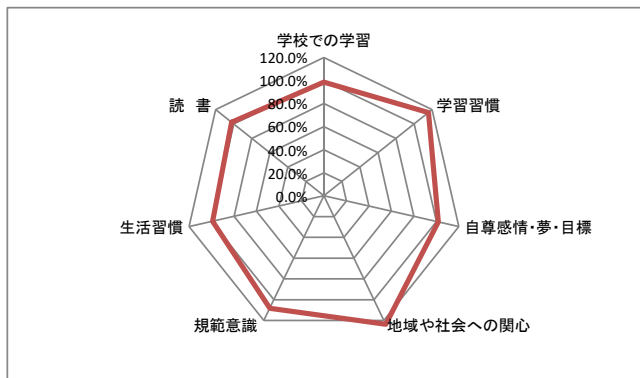
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	平均正答数(9.7)平均正答率(69)とも全国や本市の結果をよく上回っていた。	上回っている
算数	平均正答数(9.0)平均正答率(65)本市では上回っていたが全国では下回っていた。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

○決まりを守ることや地域の行事に参加することに、よくがんばっている。
○読書や学習習慣、生活習慣もがんばりや努力がみられる。
○「自分自身にはよいところがある。」という自尊感情を問う質問の数値が全国平均より低かった。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○算数科では、数量や図形についての技能面(図形を描く、加法と乗法の混合計算)が下回っていたので、個別に支援をしていく。
○国語科では、日頃の授業で、決められた字数で自分の考えや思いをまとめて書く活動を取り入れていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

○「朝食を毎日食べている」生活習慣が全国平均に比べると低いので、家庭に啓発を行っていく。